

第41回高知県がん対策推進協議会 議事概要

1. 日時 令和6年9月11日(水) 18:00~20:00
2. 場所 県庁 第二応接室
3. 出席 委員19名中、17名が出席
4. 議事
 - (1) 第4期 高知県がん対策推進計画の進捗確認について
 - (2) 令和7年度患者満足度等調査項目案について
 - (3) 令和6年度高知県がん検診等事業所実態調査結果について
 - (4) 高知県がんピア・サポート事業の実施について
5. 報告事項
 - (1) 都道府県がん対策推進計画の策定状況
 - (2) HPV検査単独法による子宮頸がん検診の導入
 - (3) がん検診連携拠点病院等の整備指針見直しスケジュール

議事について、県から説明し、意見交換を行った。(主な意見は下記のとおり)

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要

(1) 第4期 高知県がん対策推進計画の進捗確認について

委員から、感染に起因するがん対策について、肝炎のみ記載されているが、HPVワクチンやヘリコバクター等は記載しないのかとの質問があり、事務局から、今回の案は記載例として作成しており、実際の資料にはHPVワクチンの接種率など記載するよう対応する、との回答があった。

(2) 令和7年度患者満足度等調査項目案について

委員から、問17-8(2)に「休職(休学)された方にお伺いします」とあるのに、回答に「復学した」「復学していない」の選択肢がないとの意見があり、事務局から、追記する、との回答があった。

また、それぞれの設問について、医療機関名を伏せたうえで、自施設と他施設を比べられる形で結果のフィードバックは受けられるかとの質問があり、事務局から、他との比較ができる形での結果のフィードバックを検討する、との回答があった。

さらに、セカンドオピニオンを受けた医療機関がどういう対応をしているか検証をする機会があれば、セカンドオピニオンの質を上げることになり、患者に勧めやすくなるのではないかとの意見があり、事務局から、本調査ではセカンドオピニオンを提示されたかどうかを調査しており、どのような対応をしているかまで調査するのは難しい、との回答があった。

(3) 令和6年度高知県がん検診等事業所実態調査結果について

委員から、「検診実施が難しい事業所には、従業員の市町村検診受診を促すことを啓発する」とあるが、事業所に対して県から「従業員に知らせて下さい」と資料を渡すのかとの質問があり、事務局から事業所向けリーフレットを作成、配付しており自社での検診実施が難しい場合には市町村検診があることを案内している、との回答があった。また、従業員の検診結果の把握について、社内での相談体制のひな形を作って事業所に周知してはどうかとの意見があった。

(4) 高知県がんピア・サポート事業の実施について

委員から、サポーターの養成数はどれくらいを想定しているかとの質問があり、事務局から、今年度は3名程度を想定しており、今後徐々に増やしていきたい、との回答があった。

また、サポーターに対しクライアントは何名になるかとの質問があり、事務局から、当面は病院内のがんサロンでの対応になる、との回答があった。

(以上)